

令和7年度 学校経営計画

川北町立川北中学校

校長 沖田 尚

校 訓 「^{じんち}仁智」・「^{そうぞう}創造」・「^{じりつ}自立」

経営理念 キラリと輝く学校づくり ～笑顔あふれる学校、信頼される学校を～

教育目標 「高い知性と豊かな情操を持ち、心身たくましく、
創造的で自立した生徒を育てる」

教育方針

- 1 教職員が組織的・協働的に力を発揮し、不易と流行を見極め洗練し続ける学校づくり（組織）
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現を通し、確かな学力を育む（知）
- 3 心豊かで他を思いやる心を持ち、いじめや差別を許さない豊かな人間力を育てる（徳）
- 4 規則正しい生活を基本とし、体育・食育が連携して心身ともに健康な身体づくりに努める（体）
- 5 良き伝統と校風を継承し、家庭・地域に開かれた信頼される学校づくり（家庭・地域）

目指す生徒像

「仁智」 他人のことを思いやり、ともに高め合う生徒
「創造」 物事に真剣に取り組み、必ずやり抜く生徒
「自立」 自分の行動に責任を持ち、信頼される生徒

目指す学校像

- 1 生徒が安心して学べ、明るく元気に過ごし、毎日通いたくなる学校
- 2 生徒が学ぶ楽しさや学ぶ喜びを感じる事ができる学校
- 3 生徒の可能性を伸ばすために工夫できる創造的な学校
- 4 教職員が目標を共有し、共通理解・共通行動をとれる学校
- 5 教職員が生き生きと気持ちよく働く事ができる学校
- 6 良き伝統と校風を継承し、保護者や地域から信頼される学校

目指す教師像

- 1 使命感と信念を持ち、資質と指導力の向上を目指して自ら学び続ける教師
- 2 生徒への深い愛情を持ち、生徒や保護者の思いに寄り添い、信頼される教師
- 3 よりよい学校づくりを目指して一致団結し、組織的に対応できる教師
- 4 服務規律を順守し、生徒が理想とする一番身近な大人のモデルとなる教師

今年度の重点目標と具体的な手立て

1 組織的な学校運営

- ① 報告・連絡・相談を密に行い、情報の共有化を図り、組織で対応できる体制を作る。
- ② 学校安全計画や事故発生時の対応に基づき、教育環境整備や危機管理に心がけ、安心で安全な学校づくりに努める。
- ③ 目標の実現に向けて、全職員が共通行動をとれるよう共通理解を図る。
- ④ メリハリを持った働き方、ワークライフバランスを意識した働き方を進める。

2 知 確かな学力の向上

- ① 「学力は授業でつける」事を意識した授業改善を進め、確かな学力の育成を目指す。
- ② 生徒に「わかる楽しさ、できる喜び」を感じさせる生徒主体の授業づくりに努める。
- ③ これまでの人権教育で培った人権感覚を土台にして、生徒指導の4つの視点を意識した授業づくりを進める。
- ④ 目的に応じて ICT 機器を効果的に活用し、基礎学力の定着と多様な学びの質の向上を図る。

3 徳 豊かな心の育成

- ① 全ての教育活動の中に、生徒指導の4つの視点（自己存在感、自己決定の場、共感的な人間関係、安全・安心な風土）を取り入れ、積極的な生徒指導を推進する。
- ② 主体性を育む学校行事や活動を企画し、生徒が活躍したり判断したりする場面を作り、それをほめるというサイクルを大切にして、生徒の自己肯定感や自己有用感を育てる。
- ③ 温かい人間関係の中で、互いに認め合い、励まし合い、学び合う集団づくりに取り組む。
- ④ いじめの早期発見、早期対応を進め、いじめを許さない学校風土をつくる。

4 体 健康な心身づくりの推進

- ① 学級・学年・生徒会を基盤に、自分の役割や責任を果たし、温かなあいさつが交わせる居心地の良い集団づくりを進める。
- ② 計画的・意図的な保健指導を行うとともに、教科体育や部活動と連携し、生徒の体力を高め、やる気・根気を身につけて積極的な生活態度を養う。
- ③ 食育や情報モラル教育を通して、健康な体と豊かな心を育む。
- ④ 生徒の不安や悩みに対して傾聴を心掛け、教育相談の充実に努める。

5 家庭・地域との連携

- ① 学校運営協議会制度を取り入れ、学校運営に地域の考えを積極的に取り入れていく。
- ② 学校の教育活動を学校・学年だより、ホームページ、学校公開等で積極的かつ有効に発信し、情報公開に努めるとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す。
- ③ 学校と家庭・地域が連携し、育友会組織と共に、基本的な生活習慣の確立や子どもの学びを支援する取組を推進する。